

見つけた。未来を輝かせる、ふるさとの名品たち。



ふるさと名品
オブ・ザ・イヤー

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、地域の将来を支える名品とその市場開拓を支援する表彰制度です。
地域の魅力づくりを応援する民間企業が、各地域に眠る名品とそれを支えるストーリーや取組をそれぞれの視点で選び表彰。
さまざまな切り口の部門賞が並ぶのが大きな特徴です。また、政府の後援も得て、地域の活性化を生みだしていきます。

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会

2018年5月21日

実行委員会

実行委員長 古田秘馬氏 (株式会社umari代表)



プロジェクトデザイナー。東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」や和食を世界に繋げる「Peace Kitchenプロジェクト」など都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。現在は地域や社会的変革の起業に投資をしたり、農業経営者の育成プロジェクトなど地域の経営強化に携わる。

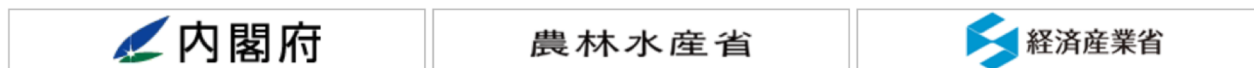
【幹事社】



【会員企業】



後援



ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－実行委員会 3つの事業領域



ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－2023
ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－表彰式
地方創生
ふるさと名品
表彰式概要
表彰式動画

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－」は、地域創生を推進するふるさと名品を顕彰する表彰式です。表彰式はふるさと名品オブ・ザ・イヤ－実行委員会が主催し、ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－実行委員会事務局が運営しています。表彰式は毎年11月に行われ、ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－実行委員会事務局が主催し、ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－実行委員会事務局が運営しています。



公式サイト



表彰式

表彰制度

ふるさと名品オブ・ザ・イヤ－



各種メディア報道



日本百貨店

セミナー 事業

コンサルティング 事業



地域商社協議会



千葉県勝浦市
地方創生フォーラム



香川県三豊市
うどんカンパニー

表彰内容：2017年度 地方創生大賞

地方創生大賞

地方創生に貢献する「人材」を輩出した取組

地方創生に貢献する「名品」を輩出した取組

地方創生に貢献した「出来事」や取組

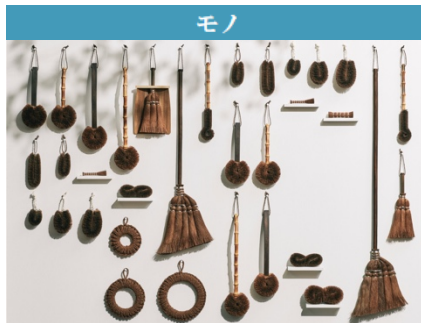
ヒト



「シティマネージャー齊藤啓輔を中心とした
衝撃に備えつつ未来に向かう地域創生」
(北海道天塩町)

BIZREACH

モノ



高田耕造商店 紀州産
からだ用棕櫚たわし 檜柄
(和歌山県)

Tri-Stage 産経新聞社

コト



NextCommonsLab遠野
BrewingTonoチーム
(東京都立川市)

KIRIN

政策奨励大賞 及び 政策奨励賞

「政策奨励大賞」
地方創生担当大臣賞



SILMORE (シルモア)
愛媛シルクプロジェクト
(愛媛県/西予市、大洲市)



「政策奨励賞」



●杉とヒノキから生まれたタキシードとウエディングドレス / ジュピターテレコム

●80歳、白衣のシニアが過疎地の廃校で研究。“夢の糖”で繋がる「希少糖の木」と「レアシュガースウィート」/リクルートジョブズ

地方創生賞



【ヒト部門】

- 横須賀商工会議所×(一社) sukasuka-ippo/キヤノン ITソリューションズ
- 岳温泉の湯守 / テレビ東京コミュニケーションズ

【モノ部門】

- サムライ足袋 (SAMURAI TABI) / ジュピターテレコム
- 世界でひとつだけの靴 香川漆芸×セルジオ ロッシ/世界文化社

【コト部門】

- 被災地域再生に挑め。「仙台の農村」を活かした学生の挑戦/JTB
- LEXUS NEW TAKUMI PROJECT/電通

事例 香川県三豊市 地域商社 瀬戸内うどんカンパニーの立ち上げ

三豊市の課題に対する打ち手として、若手経営者による、地域の未来のための地域商社づくりをベースにし、「瀬戸内ブランド」まで拡張した戦略をとり、「瀬戸内うどんカンパニーのCUO（チーフうどんオフィサー）」の公募実施。2017年8月25日に、CUOに北川智博氏就任の記者発表会を実施。その後の地域商社会社の立ち上げ、事業戦略立案、事業立ち上げサポートを展開。

CUO選考合宿の様子



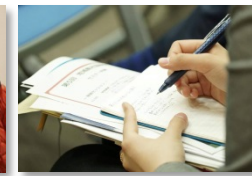
CUO就任記者会見



2016年に地域商社協議会を設立



地域資源の市場開拓の司令塔である「地域商社」機能の設立と普及に向け、その効果的な事業展開をめざし、官民共同にて実施運営する「地域商社協議会」を設立。本事業に関しては、ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会、内閣府、経産省、農水省の4者が主催。



▼各回の主なテーマ（パネルディスカッションテーマ）

セミナー 地方創生推進交付金 実質的かつ効果的活用法のセミナー

第1回 事業の立ち上げ・地域ブランディング・地域外市場開拓

第2回 地域と海外を結ぶ事業展開～国内市場展開への示唆

第3回 地域商社事業の新展開～設立の方向性と支援環境

第4回 地域商社事業のプロデュース～主としてファイナンス面から

第5回 地域商社トップに求められるもの／海外市場展開を考える

2017年度は地域開催を展開

3つの事業の関係性

1) 表彰事業



アウトプット支援

地域商社/DMOのリフトアップ

3) コンサルティング事業

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー
サポートプログラム

地域商社/DMOスタートアップ支援

2) セミナー事業

地域商社協議会

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
農林水産省
経済産業省

地方の地域創生事業、新たな商流づくりをサポート

CMC（コーポレートマッチングカンファレンス）

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会へ参画の企業同士の連携により「BtoG」向けソリューション開発を行い、地方創生に貢献するとともに、ビジネスベースでの事業参画に寄与することを目的に、地方創生関連の知識習得や人脈形成のためのカンファレンス、テーマ別の勉強会・商談会の開催して、企業間マッチングをサポート。



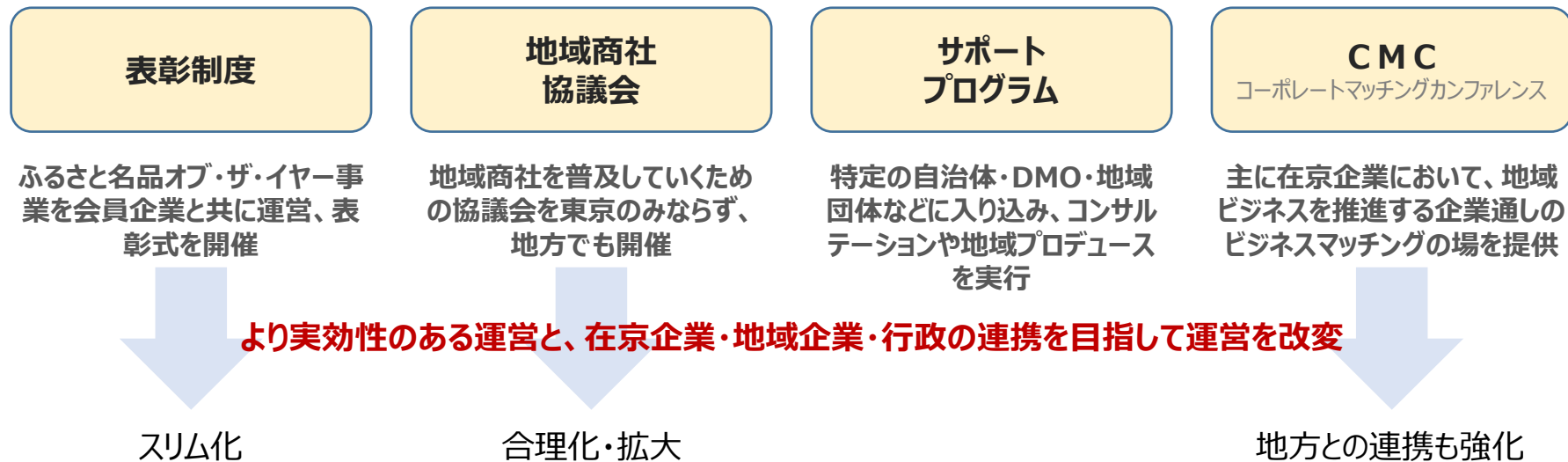
【開催実績】

- | | | | |
|-----|---------------|-------------|-----------------|
| 第1回 | 2017年11月1日（水） | 10:30～12:30 | 会場：Yahoo! JAPAN |
| 第2回 | 2017年12月4日（月） | 10:00～12:00 | 会場：Yahoo! JAPAN |
| 第3回 | 2018年1月15日（月） | 10:00～12:00 | 会場：Yahoo! JAPAN |
| 第4回 | 2018年2月19日（月） | 12:15～13:45 | 会場：内閣府 |
| 第5回 | 2018年3月12日（月） | 10:00～12:00 | 会場：JTB |
| 第6回 | 2018年4月16日（月） | 10:00～12:00 | 会場：JTB |

2018年度



2017年度の事業内容と2018年度の主な変更点



● 主な変更点

- ✓ 部門賞の個別運営を見直し（撤廃）、地方創生担当大臣賞のみの形式に表彰制度をスリム化。
- ✓ ネットワークの場として地域商社協議会やCMCの有効活用を広く展開。
- ✓ 参加形態・会費を見直し、より多くの企業や団体の参加ができる形に。

2018年度 事業内容（案）

活動	開催数(年)	内容
①CMC商談会の開催	8-10回	・ビジネスマッチング ・商談会等
②地域商社協議会の開催	2回	・セミナー ・プレゼン ・商談会他
③ふるさと名品オブザイヤー表彰制度	1回	・1次、2次、最終審査で賞を決定 ・地方創生担当大臣賞の表彰 ・表彰式の開催
④サポートプログラム	都度	・コンサルティング業務 ・その他受託業務等
⑤地方創生交付金関連の情報交換/意見交換	都度	・地域商社協議会や事務局会議での情報交換

会員企業の参加形態の変更

これまで、幹事社・会員企業・協力企業という参画形態であったが、事業や権利ごとに細分化した参画プランに変更。

～2017年度



幹事社
会費150万円
各事業の運営と幹事会運営など主な
議決権
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー部門賞を
設け運営



会員企業
会費30万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーの部門賞
を設け運営



協力企業
会費なし、部門賞運営なし
実行委員会のメディア露出協力など



2018年度～



幹事社
会費150万円
各事業の運営と幹事会運営など主な
議決権
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦



会員企業
会費30万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦



参加企業
会費10万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦

会員参画プラン

	CMC 参加権	協議会 ブース出展 orプレゼン	2次審査 への 推薦枠	役職権利	二次審査 投票権	
10万円	○	優先順位③	1枠	×	×	地方企業枠
30万円	○	優先順位②	1枠	×	×	在京企業枠
150万円	○	優先順位①	5枠	○	○	

参加メリット

これまでと変わらないメリット

- 地方創生担当大臣賞の表彰制度への参画
- 地方自治体や様々な企業との出会い・結びつき・新たな事業への挑戦

これまで以上のメリット

- CMCをはじめとする、地域ビジネスに関連する各プレイヤーとの距離が一層近くなる。
- とくに大企業でなくとも、地域企業や個人でも最低10万円から参加企業になることが可能に。

今後の予定

6月11日（月） 2018年度の幹事社および、会員企業、参加企業の募集開始

6月29日（金） 参加申し込み締め切り

7月2日（月） 暫定幹事社会（役員選出）

7月9日（月） ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2018年度 総会

【ご参考】ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会 運営ガイドライン

※一部ガイドラインの変更を行う予定

https://furusatomeihin.jp/file/guideline_2017.pdf

見つけた。未来を輝かせる、ふるさとの名品たち。



ふるさと名品
オブ・ザ・イヤー

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、地域の将来を支える名品とその市場開拓を支援する表彰制度です。地域の魅力づくりを応援する民間企業が、各地域に眠る名品とそれを支えるストーリーや取組をそれぞれの視点で選び表彰。さまざまな切り口の部門賞が並ぶのが大きな特徴です。また、政府の後援も得て、地域の活性化を生みだしていきます。

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー事務局（JTBCコーポレートセールス内）

E-Mail : urusatomeihin@bwt.jtb.jp

営業時間:月～金 9:15-17:45（土日祝休業）